

勤務実態解明  
ワタミに要求

自殺社員の子孫

居酒屋チェーン「ワタミフードサービス」(東京)の社員だった森美菜さん(当時26)が入社二カ月後の二〇〇八年六月に過労自殺した問題で、森さんの両親は二十日、ワタミ側が今年二月の労災認定後の和解交渉で「安全配慮義務違反に当たらない」と主張していることを明らかにした。両親は同日、ワタミグループ本社を訪ね、森さんの勤務実態の解明やワタミの渡辺美樹会長との直接協議を求める文書を渡した。

両親によると、和解交渉では再発防止策への明確な回答もなかったという。森さんの父、豪さん(68)は「ワタミ自身が自分たちの仕事で娘を殺したという自覚を持たない限り意味がない」と訴えた。

文書では「業務実態を知るワタミの会長と話し合い、娘の死の原因を見極めたい」とし、十月一日までに回答を求めている。ワタミは「誠心誠意対応していく」とコメントした。